平成25年度　事業報告

黒部市から指定管理者の指定を受け、吉田科学館の管理運営を行う。館の設置目的である「青少年の科学教育の場」として、また、「市民の科学、文化活動の場」として事業を推進した。平成25年4月1日から平成26年3月31日までの事業及び利用状況は、次のとおりである。

事　業　名	実施時期並びに参加者人数		観覧者数及び参加
自主事業	●特別展「電気の道」	期　間:6月8日～9月8日	7,975 人
共催事業 巡回写真展等	●巡回写真展「富山県ナチュラリスト協会写真展」	期　間:4月1日～4月21日	699 人
	●巡回写真展「すばらしき トキ写真展4」	期　間:4月28日～5月11日	1,535 人
	●天体写真展「そら・空・宙」	期　間:5月18日～6月30日	2,539 人
	●魚津地区 理科自由研究・発明くふう参考展	期　間:7月6日～7月7日	725 人
	●オリジナルプラネタリウム番組「彗星の旅」原画展	期　間:7月6日～9月8日	6,228 人
	●第8回黒部市少年少女発明くふう展	期　間:9月14日～9月23日	1,175 人
	●第8回黒部市小中学校児童生徒科学作品展覧会	期　間:9月26日～10月6日	978 人
	●巡回写真展「自然写真愛好会・美写者」写真展	期　間:10月13日～10月26日	576 人
	●巡回写真展「すばらしい自然を」	期　間:11月2日～12月1日	1,767 人
	●プラネタリウムなんでも自慢	期　間:11月3日～12月18日	2,382 人
	●ほしぞら・あおぞら写真絵画コンテスト作品展	期　間:12月7日～1月13日	1,127 人
	●佐伯邦夫／写真展　片貝川源流の山	期　間:12月21日～1月26日	935 人
	●富士フイルムフォトコンテスト	期　間:2月1日～3月16日	1,462 人
	●JAXA展示	期　間:2月7日～2月21日	618 人
	●富山県ナチュラリスト協会写真展（3月31日現在）	期　間:3月21日～4月20日	793 人
プラネタリウムの投映	投映日数:246日		10,081 人
	◆一般投映		
	春番組　「宇宙兄弟 一点のひかり」（購入）		
	期　間:4月1日～6月2日		2,107 人
	夏番組　「彗星の旅」（オリジナル番組）		
	期　間:6月8日～9月8日		2,960 人
	秋番組　「彗星からのおくりもの」（再投映）		
	期　間:9月14日～12月1日		1,323 人
	冬番組　「雪ものがたり－雪降る里の民話と科学－」（再投映）		
	期　間:12月7日～2月21日		615 人
	春番組　「ワンピースプラネタリウム」（購入）		
	期　間:3月1日～6月1日（3月31日現在）		754 人
	◆学習投映		
	小学校4年「そらみの星空ウオッチング」（オリジナル番組・再投映）		1,319 人
	幼児投映　「たなばたのほし」（再投映）		605 人
	中学校3年「地球と宇宙」（再投映）		398 人
	◆立体映像		
	「天から山から～黒部の水～」、「海の生きもの～不思議ウオッチング～」の立体映像を		
	プラネタリウムと合わせて投映した。		
	◆4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」		
	最新の宇宙空間を自在に飛び回れるビューワーソフト「Mitaka」を、土日祝日に		
	プラネタリウムと合わせて投映した。		
プラネタリウム祭り	講演会、天文教室、工作教室、ワークショップ、子供向けプラネタリウム、		
	特別プラネタリウム投映など、プラネタリウムや天文の魅力をより多くの人に知ってもらえた。		1263 人
第11回世界自然・ 野生生物映像祭	サテライト会場として10:00～17:00の時間帯で4日間にわたり25作品を上映した。		
	期間:8月8日～11日		622 人

事　業　名	実施時期並びに参加者人数	観覧者数及び参加
天文・宇宙教室普及事業	●天文教室　毎月第3土曜日開催（13回）	400 人
	●7月7日、全国同時七夕講演会2013 大彗星がやってくる～七夕の夜のお話～	77 人
	●ライブ中継	
	・8月27日、9月14日に「イプシロンロケット」の打ち上げライブ中継をした。	39 人
	・11月7日に「ソユーズ」の打ち上げライブ中継をした。	9 人
	●星空トロッコ（3回開催：9月28日・10月1日・10月4日）	139 人
	黒部市、(一社)黒部・宇奈月温泉観光局他の主催事業に協力として参加、欅平で星空解説を担当した。	
	●いくじ灯台まつり	71 人
	11月2日、灯台で2回、実際の星空を見ながら解説を行った。また双眼鏡の貸出も行った。	
	●とやま親子科学教室	123 人
	2月16日、北日本新聞社主催で宇宙編を開催。JAXAの方々の講演や、工作教室を行った。	
	●特別投映　星空とともに	76 人
	3月9日・11日に、東日本大震災の記憶を風化させず、防災に役立ててもらおうという目的で、仙台市天文台が制作したプラネタリウム番組を投映した。	
プラネタリウムの多目的利用（ヒーリングプログラム）	●星と音楽の夕べ（3回開催：10月15日・12月23日・3月22日）	319 人
	音楽と星空や映像を組み合わせた幻想的なコンサートを開催した。	
	●マタニティプラネタリウム（2回開催：4月27日・10月26日）	58 人
	妊産婦を対象に星空のもと胎教音楽を聞きながら心安らぐひとときを過ごしてもらった。	
	●リラクゼーションプラネタリウム　毎月第4土曜日開催（8回）	185 人
	週末の夜、満天の星空と癒しの音楽に包まれながら、リラックスしたひとときを過ごしてもらった。	
工作教室	●自由工作教室　常時開催	387 人
	●工作教室（31回開催）	977 人
	●幼児（工作）教室（1回開催）	28 人
	●その他	
	・折り紙ヒコーキ工作教室＆ギネス記録に挑戦	168 人
	・世界最大の折り紙ヒコーキをチームで作って飛ばそう	156 人
サイエンスショー	●4月1日～6月2日　回転のおもしろさ（74回開催）	827 人
	●6月8日～9月8日　水のふしぎ（130回開催）	2,563 人
	●9月14日～12月1日　エネルギーのいろいろ（76回開催）	1,045 人
	●12月7日～2月21日　大気圧のふしぎ（55回開催）	578 人
	●3月1日～6月1日　歯車のふしぎ（34回開催）3月31日現在	285 人
おもしろ実験と科学工作を楽しむ会	8月4日、関西電力㈱の魚住仁司先生、佐藤一二三先生を講師に迎え、「発電・電力・電気に関する実験」を楽しんだ。	46 人
関電電気教室	8月24日、普段見ることのできない関西電力宇奈月発電所の内部を専門員に解説してもらい見学した。電気に関する実験等も体験した。	15 人
自然観察会	●春の野鳥観察会（5月12日）	20 人
	●川の生き物たちと親しもう（8月11日）	27 人
	●秋の野鳥観察会（11月17日）	5 人
	●黒部の雪を楽しもう（1月26日）	19 人
	●新川牧場雪まつり（2月22日）	21 人
調査研究	7月28日、黒部川・水のコンサート＆フェスティバル主催事業の中で黒部川の川原を歩きながら流れの速さ・水温・性質を調べた。	42 人
その他	●黒部少年少女発明クラブ　科学（工作）教室　15回開催	354 人
	●科学館の達人認定者	11 人